

## 東中学校の3年生による奉仕活動

(10月17日、第二小学校ほか)  
9月から10月にかけ、同校の3年生141名が、地域への感謝の気持ちを育てようと、出身小学校や近隣の幼稚園・保育園、市道の清掃などの奉仕作業を行いました。



▲母校をより美しく! (第二小学校)

## 第一小学校ウォーキングラリー

(11月3日、市中心部)  
第一小学校の児童67名が参加し、地域の皆さんとあいさつを交わしながら、沢端川からゴールの白石城までの道のりを走破。自分たちのまちの魅力を再発見していました。



▲白石城の説明を受ける子どもたち

## 寿山自治会館まつり

(11月10・11日、寿山自治会館)  
自治会館新築をきっかけに始まったおまつりです。会館には絵画や手工艺品など100点を超える作品が所狭しと展示されたほか、綿菓子コーナーは子どもたちに大人気でした。



▲鷹巣自治会から借用した綿菓子機

## 元気に100歳を迎えました

日下なを江さんに松竹梅敬老祝金  
満100歳の誕生日を迎えられた日下なを江さん(明治40年11月14日生まれ)の自宅を風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金100万円を贈り、長寿を祝福しました。



▲元気に迎えてくれた日下なを江さん

なを江さんは深谷地区のお生まれで、昭和の初めに蔵本地区の日下家に嫁ぎ、養蚕などの農作業の傍ら、8人の子育てに奮闘しました。現在も大変お元気で、食べ物に好き嫌いはなく、散歩や相撲などのテレビ観戦を楽しんでいるとのこと。

## 城下町の散策をより楽しく!

ロータリークラブがプレートを設置  
9月29日、白石ロータリークラブと白石北ロータリークラブが協力して、益岡公園の館堀沿いにある樹木にプレートを設置しました。

これは、白石城のある益岡公園の館堀内にある樹木の花期や名前が分かることで、市民の皆さんや観光で訪れる皆さんに、城下町白石をより一層楽しく散策してもらおうと実施したものです。設置に当たっては、白石市文化財保護委員の上野雄規さんからご協力をいただきました。



▲名札を設置する会員

## 来年8月の完成を楽しみに!

### 南中学校校舎改築工事安全祈願祭

10月26日、南中学校体育館脇で校舎改築工事の安全祈願祭が行われ、本市で唯一の木造校舎である南中学校の校舎改築工事が着工しました。地域の皆さんの念願であった校舎改築は、この度の着工までの間に幾度となく地域の皆さんや生徒たちと話し合いを重ね、地域の皆さんの意向を十分取り入れたものとなっています。木造2階建て造りで一部鉄筋コンクリートの校舎は、来年8月の完成予定です。

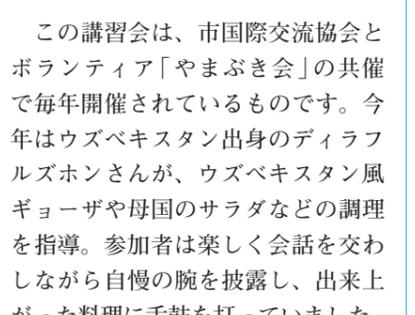


▲安全祈願祭の様子

## ウズベキスタン風ギョーザのお味は?

### 国際料理講習会

11月12日、中央公民館で国際料理講習会が行われ、市内から参加した23名が異国の料理に挑みました。この講習会は、市国際交流協会とボランティア「やまぶき会」の共催で毎年開催されているものです。今年にはウズベキスタン出身のディラフルズホンさんが、ウズベキスタン風ギョーザや母国のサラダなどの調理を指導。参加者は楽しく会話を交わしながら自慢の腕を披露し、出来上がった料理に舌鼓を打っていました。



▲ギョーザの包み方のコツは?

## 子どもからお年寄りまで楽しめました

### 犬卒都婆で羽山まつり

11月4日、白川地区の犬卒都婆公会堂前広場で7回となる羽山まつりが開催されました。



▲手作りのゲームで楽しいお祭りに

11月の羽山神社の本祭り「権立」の前夜祭と、地域おこしのために開催している羽山まつりは、年々訪れる人が増え、今年は昨年を上回る地域の皆さんでにぎわいました。

また、9月15日から毎週土曜日に同会場で「羽山朝採り市」を始めたところ大盛況で、羽山まつりと併せて地域の元気が高まっています。

## 青空に向かってナイスショット!

### 第32回白石市民ゴルフ大会

10月21日、大鷹沢の仙台グリーンゴルフクラブを会場に、白石市民ゴルフ大会が開催されました。今年で32回目を迎えた歴史ある大会には、59名の市民ゴルファーが出場し、熱戦が繰り広げられました。今年の大会では、渡辺敦さん(中町)が見事初優勝を飾り、風間市長から白石市長杯が贈られました。この大会は毎年10月に開催されており、市民のほか白石市に勤務されている方なども出場できます。



▲市長杯を手に風間市長と記念撮影

# 風間市長の「虫のサンシャキヤキ」 「自治」

平成19丁亥年(2010年)もあとわずか。皆さまにとって今年はどうのよう年だったでしょうか? 私は毎年同様の忙しさに加えて、自然災害に悩まされ、師走ならぬ「市長走る」の「市走」な一年でしたが、さまざまな方々とお会いすることができた一年でもありました。

ある雑誌に、山形出身で「野の思想家」と言われた真壁仁氏が書き残した『百姓真志』という文が掲載されていました。それは「百姓とは、百の姓(かばね)なり。百の生なり。百の職なり。百の技なり」から始まり、「天地開明の理(ことわり)を明(あきら)め、万物生成の原理を解きて(中略)悪しき条理の中に物を育たしめ、作物自らの力を生かしむ、何よりも土をつくるを本命とす」と続く、百姓の神髄を伝えているものでし

た。恥ずかしながらこの雑誌を読むまで、この文も作者の名前も知りませんでした。とても印象に残ったので書きとどめておいた文章です。昔の農家の方々は、暮らしに必要なものは自ら作り出す技術と工夫を持ち、達人としての誇りを持っていました。そして、その人たちが持つ技が分化し、職として定着し、「むら」や「まち」を築き上げました。まさにまちづくりの極意。「百姓の魂を取り戻せ!」とも書かれてありました。「ごもつとも!」の一語に尽き、

これこそ自治の原点ではないかと思えます。前述の文章を「自治を育たしめ住民が持つ自らの力を生かしむ、何よりも人をつくるを本命とす」と所どころ文字を変えて読むと、地方自治、まちづくりの神髄を示すものとなるのではない

でしようか。青年会議所時代から「まちをつくるのは人、だからこそ「人づくり」が大切!」と指導されてきましたので、このことは身にしみて分かりますし、重要であると認識しています。今年はこの「人づくり」が実り、かたちと

なつて表れ始めた年ではなかったかと思えます。防災、助け合いの精神から自治会ごとに創られ始めた自主防災組織。街中にぎわいを創り出そうと集まり、新たな白石土産を作り出した賑わい創り研究会。道路の清掃美化に努めるス

マイルロード・サンキューロードサポーターの皆さん。やる気隊に登録した諸団体の皆さん。軽トラ市に参加された皆さんなどなど。これまで活動されてきた方、新しく活動を始められた方と、市内各所で人がつくられ、力を発揮して

【11月号の答え】  
海に接していない都道府県は、47都道府県のうち、栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県の8県です。全部当てられましたか?

話は変わりますが、なぜ電話で「もしもし」と呼び掛けるのでしょうか?

いることを聞きたび、本当にうれしくもあり、頼もしくもあり、心から感謝しています。本年も大変お世話になりました。来年も共汗・共学・共生の精神で、私たちのふるさと白石を共創していきたいと思います。よろしくお願ひします。良いお年をお迎えください。